事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名	市政座談会事業	☑ マニフェスト関連	☐ 全庁横断課題関連	☐ 集中改革プラン関連

総合計画体系			所属部	総務企画部	課長名	建岡純雄
政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属課	市長公室	担当者名	北里利朗
施策	14	市民参画によるまちづくりの推進	所属班	秘書人事班	（内線）	1222
基本事業	41	自主的地域づくり（まちづくり）への意識の高揚	法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	☐ 20年度で終了	☐ 21年度から開始	成果優先度評価結果	3
	1	2	1	1	10332			コスト削減優先度評価結果	11

事業期間 ☐ 単年度のみ ☑ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度 （ ～ 年度）

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】
市民へ広く合志市の情報を提供し、市政運営を市民との協働で進めるため、市長等が地域へ出向き、市民との意見交換を行う。
【業務の流れ】
①座談会開催の日程、場所、方法などを市長・副市長・収入役と検討する。②開催場所の確認をとり、要項(案)を作成する。③要項(案)を庁議・嘱託員会議において報告（協力依頼）する。④広報誌・ホームページで周知を図る。⑤テーマなどの横断幕の作成、鉛筆、卓上名札などの準備。
【主な予算費目】
[款]2総務費[項]1総務管理費[目]2秘書広報費[節]3時間外勤務手当

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

20年度実績（20年度に行った主な活動）（DO）
・自治基本条例策定市民検討会として、西合志図書館、須屋市民センター、総合センターヴィーブル、泉ヶ丘市民センターを会場に、3月1日と8日の午前、午後に計4回実施した。（一般参加者は延べ56名。スタッフとして参加した職員が延べ37名。懇話会委員が延べ52名。）事前の準備として2月20日の時間外に合志庁舎においてリハーサルを行った。

21年度計画（21年度に計画している主な活動）（PLAN）
・「合併後の合志市の姿」と「庁舎のあり方」をテーマに7～8月開催で計画。

⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標 （単位）
⇒ ア 市政座談会への参加者数 人
イ

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
市民

⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標 （単位）
⇒ ア 人口 人
イ

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
まちづくりへ関心をもつ。

⑦成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標 （単位）
⇒ ア 意見の数 件
イ

④ 上位の目的（さらにどんな目的に結び付けるのか）
まちづくりへの理解が深まる。

⑧上位成果指標（上位目的の達成度を表す指標）＝④の指標 （単位）
⇒ ア 自主的にまちづくりに取り組む必要があると思う市民の割合 %
イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	135	291	139	118	370	370	370	
	（A）事業費計	千円	135	291	139	118	370	370	370	0
	うち指定経費 うち時間外、特殊勤務手当	千円 千円								
人件費	正規職員従事人数	人	4	6	6	23	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	300	412	400	180	400	400	400	
	(B)人件費計	千円	1,191	1,640	1,592	716	1,592	1,592	1,592	0
トータルコスト(A)＋(B)		千円	1,326	1,931	1,731	834	1,962	1,962	1,962	0

（期間限定複数年度のみ記載）総トータルコスト

		単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	総合計画 22年度
活動指標	ア	人	80	274	300	56	300	300	300	
	イ									
対象指標	ア	人	53303	53909	54518	54518	55124	55732	56000	
	イ									
成果指標	ア	件	50	200	200	640	200	200	200	
	イ									
上位成果指標	ア	%								
	イ									

目標数値

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・合併（18．2．27）により開始。市長のマニフェストの一つであり、直接対話をし、市民の声を市政に生かすということは、市民と協働でまちづくりを進めるため、必要であると感じたため。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
・合併後1年が過ぎ、市民参画による協働のまちづくりを進めるためにも、合併後の状況（財政状況、市の取り組み等）を市民に知らせるとともに、市民の意見を聴く必要があると感じている。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
・参加をした住民から市長からの経過報告の時間を短くして、市民との意見交換の時間を長くしてほしいとの要望があった。
・また、テーマは決めずにフリートークの方がいいとの意見があった。
・議会からは、参加者が少なかったことに対しての指摘があった。

合志市

事務事業名	市政座談会事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室

2　評価の部(SEE)＊原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由】 ・市民の市政への理解が深まることは、市民参加のまちづくりの推進となる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 ・市の状況を市民に知らせ、市政に市民の意見を反映すための手段として必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☑ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・より多くの市民が座談会へ参加するよう、座談会の内容、周知の方法など工夫が必要。 ・また、座談会の会場においては、市民が意見や提案を出しやすい雰囲気作りや座談会の進め方の工夫が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☑ 影響有 ⇒【その内容】 ・市長ほか市の幹部と市民が直接対話をし、意見交換をする場がなくなることにより、市民の市民参画の協働によるまちづくりの意識が薄れる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段，事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業がない。 ☑ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費は、担当職員の時間外勤務手当のみであり、市民が参加しやすい時間帯を考えると、必要最小限の経費であり、削減することはできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 ・このような直接行政と市民とが対話をする機会は必要であり、今後はこの事業に費やす時間は増加して行く必要性を感じている。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 ・特定の受益者に偏ってはいない。

3　評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)
・より多くの市民が座談会へ参加するよう、座談会の内容、周知の方法など工夫が必要。
・また、座談会の会場においては、市民が意見や提案を出しやすい雰囲気作りなどの工夫が必要。

4　今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
☐ 廃止　☐ 休止　☐ 目的再設定　☐ 事業統廃合・連携　☑ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)　☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
・市民が参加したくなる座談会となるような工夫が必要。
・また、市民が意見や提案をしやすい座談会の雰囲気作りも必要。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5　事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	2	(　直結度高い　1～3　直結度中　4～6　直結度低い　7～9　)
(2)貢献度	3	(　貢献度高い　1～3　貢献度中　4～9　貢献度低い　10～12　)

合志市